

## 「後継者と考える事業承継座談会」実施概要

広島県商工会連合会  
経営支援部 経営支援課

### (実施目的)

後継者とのコミュニケーション不足が課題である事業者の現経営者と後継者が一緒になってセミナーを受講し、今後の事業展開について考える第一歩としてもらう。

### (実施日程)

- |                  |             |   |
|------------------|-------------|---|
| 1回目：令和4年8月22日（月） | 10：00～11：30 | 後継者のみが受講                                  |
| 2回目：令和4年8月29日（月） | 10：00～11：30 | 現経営者のみが受講                                 |
| 3回目：令和4年9月1日（木）  | 10：00～17：10 | 後継者と経営者が一緒になっ<br>て受講する個別相談会形式の<br>ワークショップ |
| 令和4年9月12日（月）     | 10：00～17：10 |   |
| 令和4年9月14日（水）     | 10：00～17：10 |   |
- ※3回目については1事業者2時間×3者＝6時間を設定する。

### (講師)

平岡 誠司（ひらおか せいじ）氏（事業構想修士、株式会社 平岡商店代表）

### (募集事業者数)

#### 8事業者（商工会管内事業者）

※受講者のイメージとしては「後継者候補がいるも、経営の話や事業の方向性の話はしたことの無い事業者（ただの社長と従業員のような関係）」（事業承継の入り口の部分に立っている事業者を対象とするため、具体的に承継準備に進んでいる事業者には物足りない内容にとられる可能性があります。）

※指導員に極力同席してもらい、事後の伴走支援に活用していただきたいため、商工会管内事業者に限定します。

### (実施内容)

もし社内に後継者がいるようであれば、現経営者と後継者が何日間もセミナー参加で抜けることは事業に影響を及ぼすため、次のような日程で配慮を行う。

#### 1日目：（後継者のみが受講する集団セミナー）（1.5時間）

- ・事業に対しての自分の思いを可視化して伝えられるようになることが狙い。
- ・現経営者側の思いや会社の全容について「見えない」部分もあることを伝える

- ・最終的にはできる範囲でかまわないので、承継後に自社の事業をどのようにしていきたいかを考えてもらう事がゴール
- ・講師自身が先代からの事業承継(親族内)を経験しており、その経験談を発表。

2日目：(現経営者のみが受講する集団セミナー) (1.5時間)

- ・事業を継がせる上での自分の思いを可視化して伝えられるようになることが狙い。
- ・後継者に譲る＝仕事を奪われるのではなく、後継者と一緒になって事業のことを考えることを強調。
- ・最終的には事業承継のスケジュール感について考えてもらう。  
(自身がいつまでやっていきたいのか、もちろん体の元気なうちは…等)
- ・講師自身が先代からの事業承継(親族内)を経験しており、その経験談を発表。

1日目と2日目から1週間程度空けて3日目を開催。フレームワークの結果を持ち寄って、お互いの考えを実際に見てもらう。

3日目：(現経営者と後継者が一緒になって受講する座談会)

- ・個別相談会形式によるワークショップとしてももらう。(コマ制にし、申込の段階で事業者の希望を取る)
- ・1事業者2時間ずつ個別に受講する形とする。そのため、3日に分けて実施。  
(2時間×3者×3日)
- ・講師1名体制で実施するが、担当経営指導員に同席していただき、円滑なコミュニケーションの助け舟を出していただきます。
- ・必要に応じては第三者(経営者の妻であり後継者にとって母であるような存在)に同席してもらい、経営者と後継者のコミュニケーションが取れるよう促してもらう。(強制ではありません)

(実施方法)

ZOOMによるオンライン開催

(成果の把握方法)

受講者への事後のアンケートと同時に、経営指導員に向けた事前・事後のアンケートを行い、セミナーを受講することで経営者と後継者のコミュニケーションがどう変わったか、を聞き取りすることで成果把握。(アンケート内容は後日通知)